

平成 26 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 遺族支え愛ネット
活動テーマ	遺族の悲嘆を分かち合い・支えあい・助け合って前向きに!!



当法人では、かけがえのない大切な人を失くし、辛い体験をした遺族同士が互いに支えあい、助け合って前向きになるための分かち合いの会（心のケア）を毎月開催しました。そこで徐々に癒された遺族のために、残された一度だけの人生が心身共に健康で、心豊かに輝いて生きる事を目的にしたサロン活動（ライフサポート）にも取り組んできました。更に、遺族の体験を語り命の尊さや、これまでの経験を生かして社会でお役に立てるための発信を行い、学習の場の提供にも努めました。（社会貢献）最近では、CB（コミュニティビジネス）・CSO（市民社会組織）2014 アワードで、大阪市長賞と奨励賞を受賞し、当法人の活動が社会で少し認知されたのではないかと考えています。

発足以来全ての行事の後半に行う「分かち合い」と「語り合い」の効果は大きく、今後も継続して行いたいと考えます。初参加者の「辛いのは自分だけではなかった」「世の中で一番不幸だと思っていたがまだまだ大変な人がいた」といった声を多く聞き、前を向くきっかけになった方は多かったと思われました。

先輩遺族が後輩遺族に寄り添い傾聴を行った結果、後輩遺族は回復の手本となる遺族と出会い、新しい人間関係の構築となりました。夫々死別体験は違っても、同じような境遇という安心感の中で、救われ、癒されて、一人ひとりが悲しみを乗り越える原動力になっていると感じます。これらからを輝いて生きるための意欲を取り戻す実践が出来ました。

また、内外に向けた講演会には 203 名の参加があり、講師青木新門さんの「いのちのバトンタッチ」に聴き入りました。

アンケート評価も好評で、少し社会に発信できたのではないかと考えています。